



瓦屋根が幾重にも  
重なる大きな屋敷  
ここが私の家だ

今は見る影もないが

ゴ  
ロ  
ゴ  
ロ

当時の我家は  
裕福だった

ハ  
ッ

芳江！

おかえりなさいませ  
坊ちゃん

# 女子便所の 乳母

三杯酢



いつまでたっても  
甘えん坊で

芳江  
しばらく  
面倒見てちょうだい

承知しました



会いたかった!

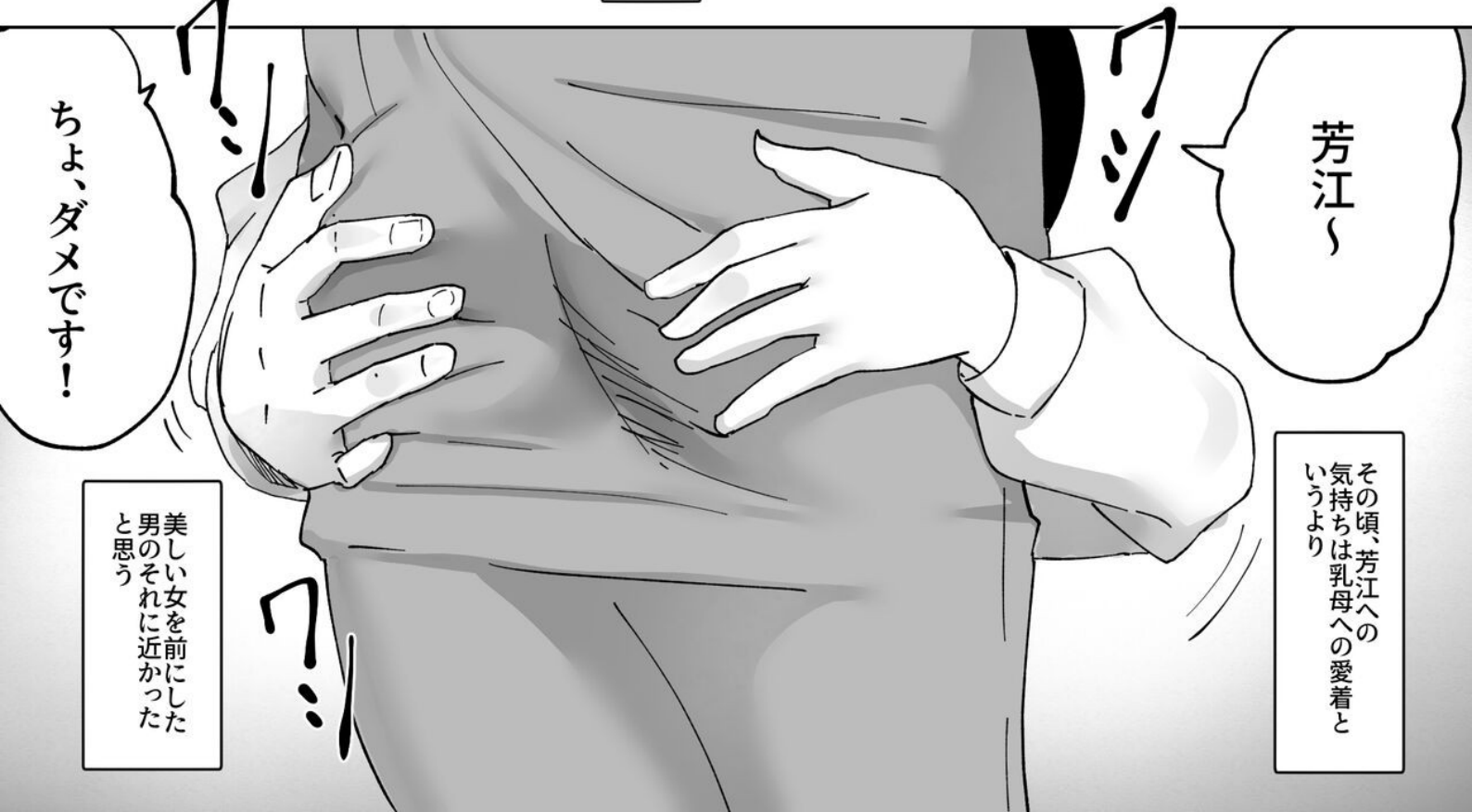
長旅ご苦労様  
疲れてませんか



芳江は私の乳母で  
非常に美しかった

わがママを言っ  
てそばにいてもらった

すでに乳母が必要な  
年では無い私だが



芳江

その頃、芳江への  
気持ちは乳母への愛着と  
いうより

ちよ、ダメです!

美しい女を前にした  
男のそれに近かった  
と思う

全寮制の学校から  
帰宅を許される長期休日

おかえりなさい  
ぼっちゃん

おかえりなさいませ

ただいま

おかえり  
なさいませ

家は女中さんが  
沢山いて華やかだった

芳恵に会えることが  
何より嬉しかった

幼い時分には  
随分かわいがってもらった

つまりお坊ちゃんとして  
ちやほやされていたのだ

なによ、あなた  
紅なんかひいて！

あんたこそ化粧が  
厚いんじゃないの？

いやらしいわね、  
ぼっちゃんに色目使って

まあ！

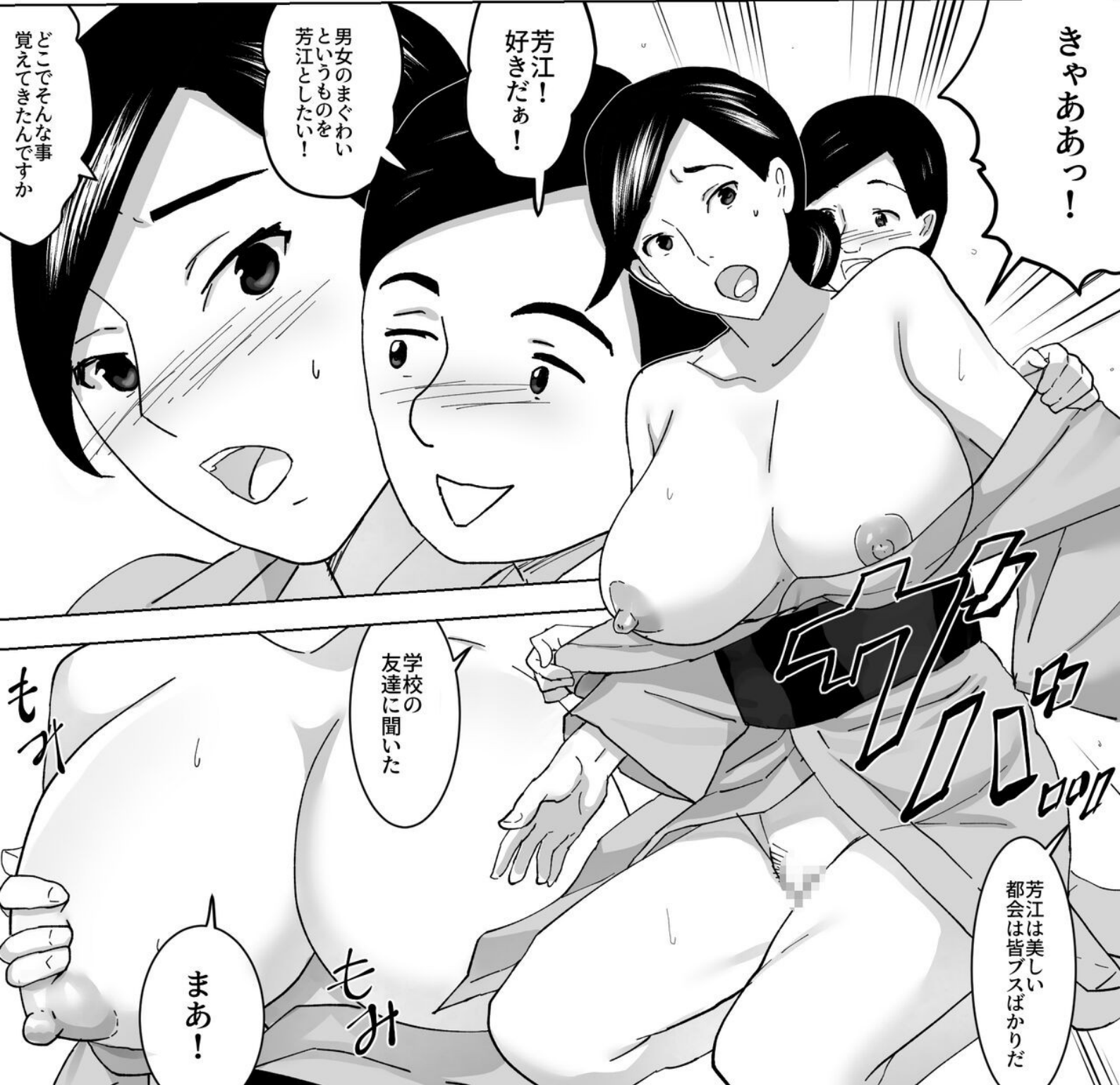
小さい王様だ

しかしどんな女も  
芳江の美しさには  
敵わなかった

芳江！  
部屋に入って

入ってもいいですけど

やらしい事するなら  
すぐ出てきますからね



きゃああつ！

芳江！  
好きだあ！

男女のまぐわい  
というものを  
芳江としたい！

どこでそんな事  
覚えてきたんですか

芳江は美しい  
都会は皆ブスばかりだ

学校の  
友達に聞いた

まあ！

モッ

モッ

ギョ



いけませんね  
坊ちゃん

え!

いきなり  
させろとは  
紳士にあるまじき  
行為です

女性は優しく  
扱うものです

うわあああ



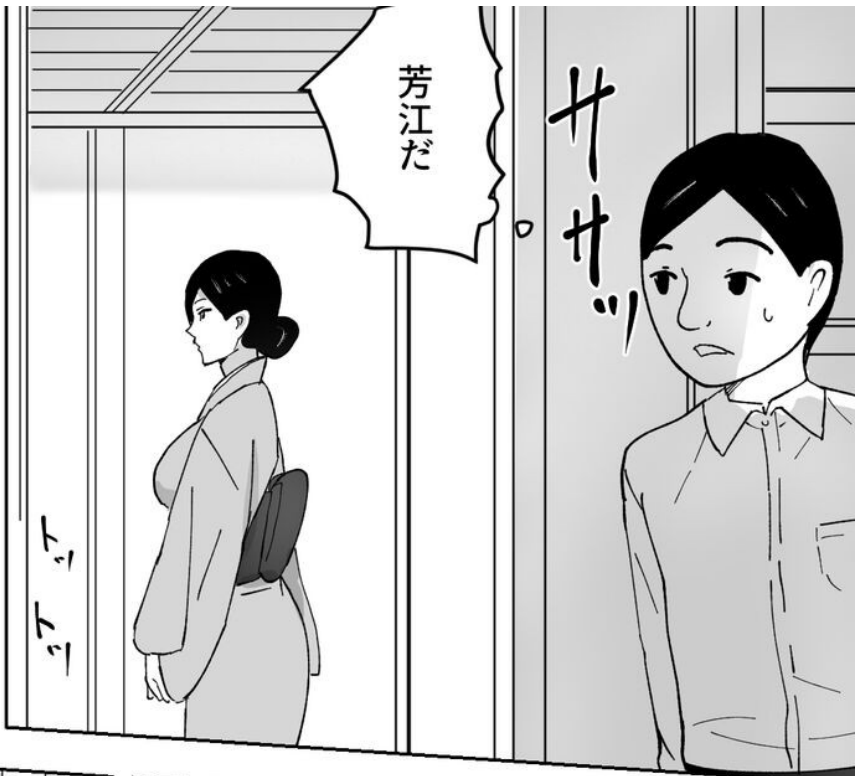
私は家の仕事に  
戻ります

気持ちよくなりたいなら  
そうやって自分でなさいな

うっ

おっ

ほら!



狙い通り廁の下に  
入り込むことができた

つまり芳恵の  
真下

芳恵の白い足が  
穴から足が見えた時

見上げると  
芳恵がむき出しの股間を  
広げていた

心臓が止まるかと思った

太ももや何もかも  
すべて丸見えだ！

白い肌に  
丸い尻に

くすんだ色の肛門と  
生々しいオマンコのひだ

芳江が…  
うんこ…

これが芳江のもの

こんな形を  
してるのか

ひく  
ひく

肛門がある

ここは男と  
一緒だ

いやいやそんな馬鹿な  
美人はウンコなんて





うおおおっ

芳恵が小便してるっ！

うわっ

パキ

パキ

しょ、小便だっ！

もっと近くでよく見たい…

パキ



あぶねっ！  
小便がかかるとこだった

パキ

パキ

でもここじゃ  
股間が見えない  
どうしたらっ

自問してる間に  
芳恵のことを終えて  
出ていってしまった

カサ

カサ

はあ

はあ

はあ、はあ

最初あれほど嫌だった  
汚物も気にならなくなった

ハ  
チヤ

ハ  
チヤ

ハ  
チヤ

平然と  
小便をかぶり

味を楽しむ  
ことさえしていた

それから  
芳恵の足音を聞いては  
先回りし

下から排泄を覗く  
日々が続いた

何度も  
飽きることなく  
覗いた

う、うんこって！  
芳江が……嘘だ

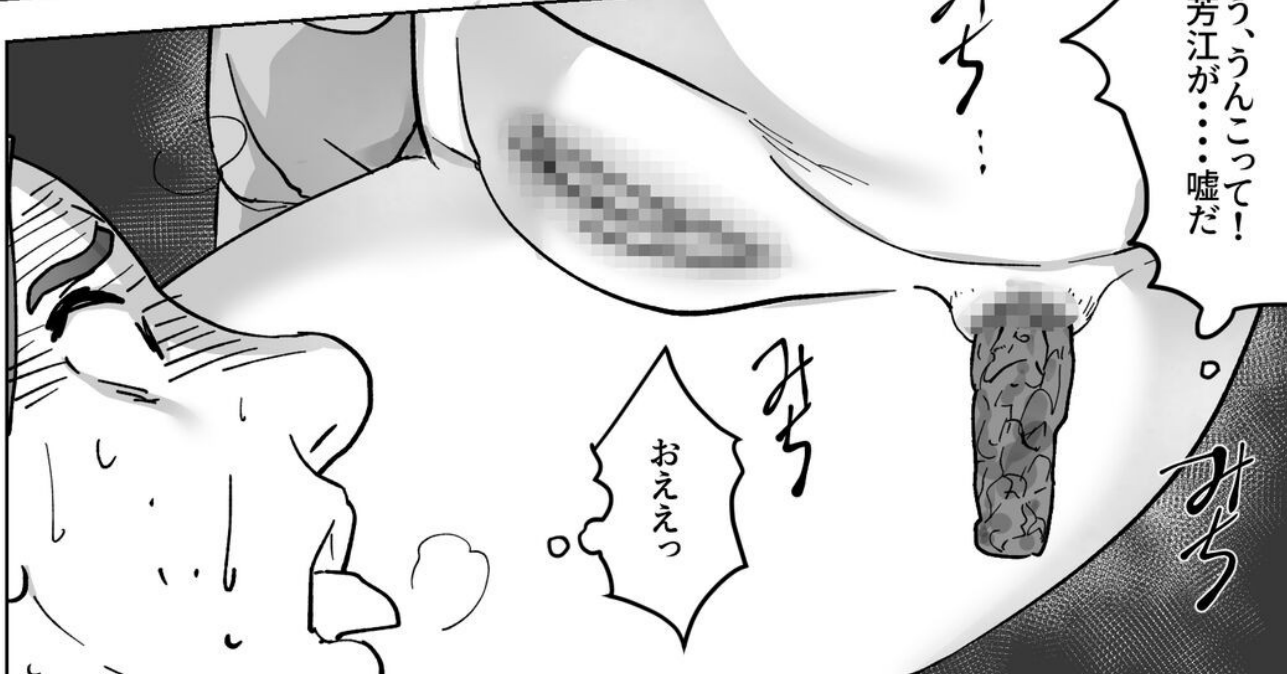
大便にもいつか  
慣れてしまったか

おええっ

みち

みち

みち







この愚かものっ

恥を知りなさい!



そう  
とほけるんですね

でははっきりに  
言わせてもらいます



私の廁を覗いていたでしょう!  
やっつていいこと悪いことの  
区別もつかないのですか

あわわわわわ...  
ごめ.....



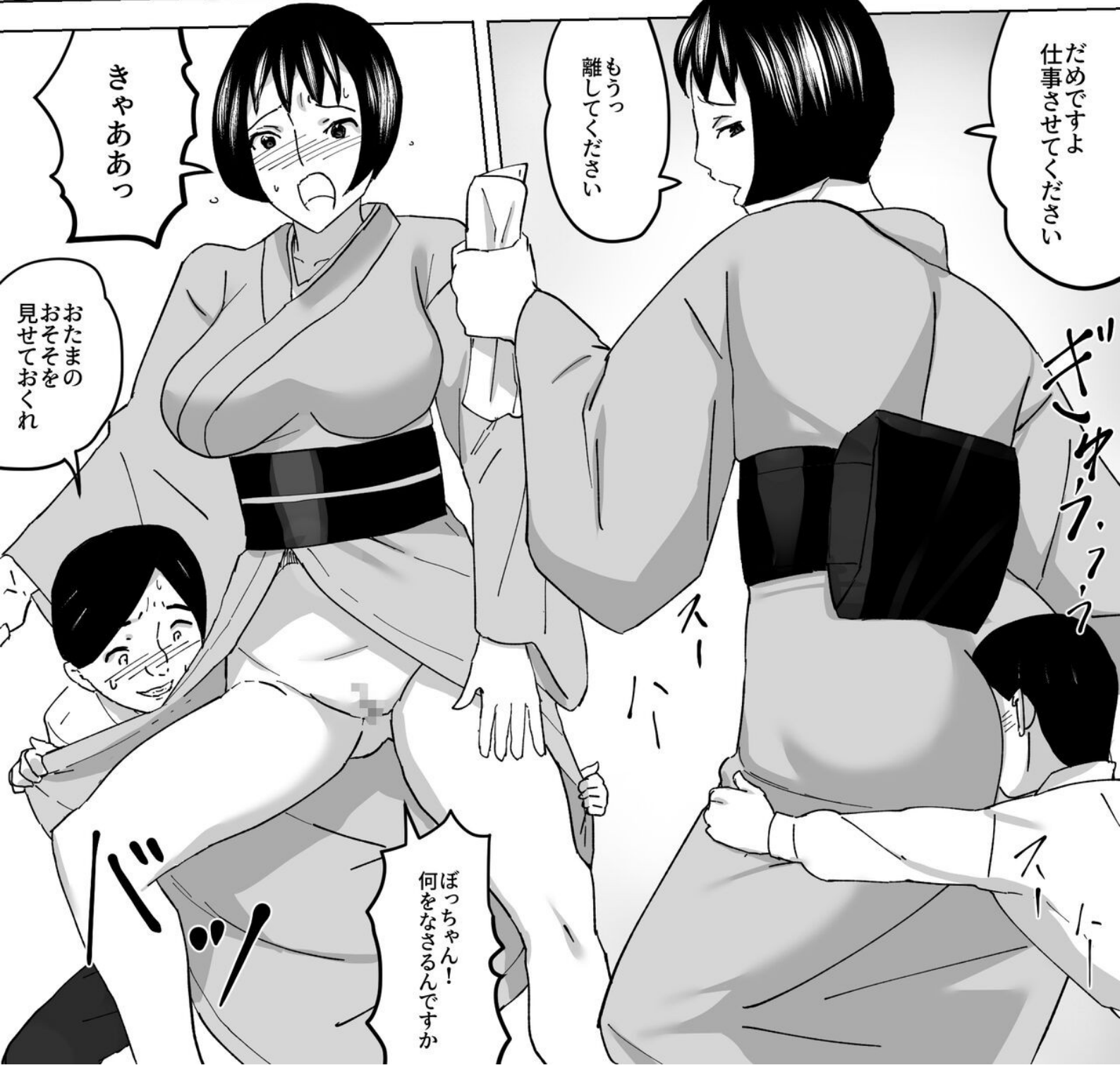


覗きの件は親にこっぴどく叱られた

芳恵はしばらく顔を  
見なくなつた

おたま

あら、ぼっちゃん  
甘えて



だめですよ  
仕事させてください

もうっ  
離してください

きゃああ

おたまの  
おそそを  
見せておくれ

ぼっちゃん!  
何をなさるんですか

ギョウ・フ・フ



こんなところで  
ダメですっ

いやあっ  
恥ずかしい

あああっ  
おたまの廁は  
こんな感じだろうか

もぞ



坊ちゃん  
なんですか？

やあっ

あああっ  
いけません



もうっ  
これ以上は  
だめです！

うーん

もう少し  
塩気が欲しい



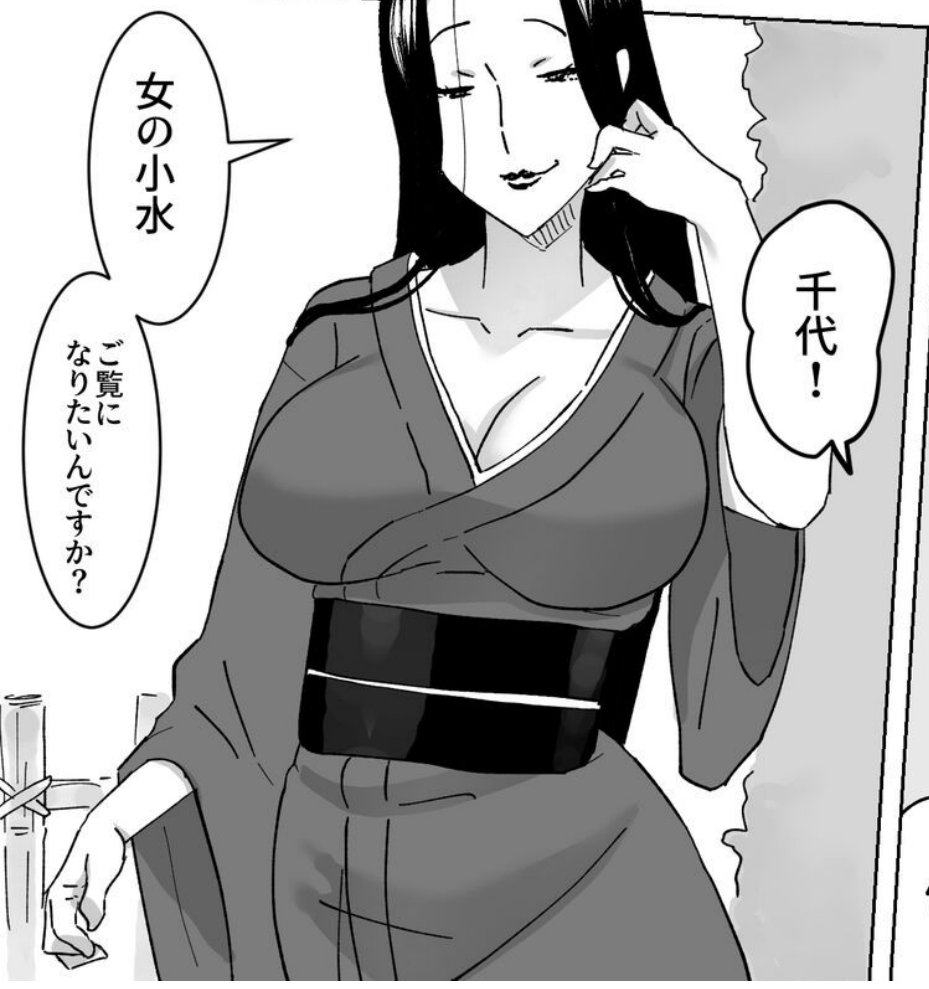
おおっ！  
強い匂いだ！

直接嗅いで  
味わえたら…



あああっ  
だめっ

おそろ  
見せておくれよ



女の  
小水

千代！

ご覧に  
なりたいんですか？



聞こえましたよ  
坊ちゃん

ん？



なあ、小水  
出しておくれよ



い、嫌です！

あああっ  
また…

何だお前  
そんな所から

また仕事を  
怠けてたんだろ

うふふ  
弱いところ  
見られちゃいましたね

これはお小水  
見せないと  
いけませんか

それじゃ

ははは

なんで  
知ってるんですか？

皆言ってる

おお  
そうだ、見せてくれ！

おおおおおっ

出ますよ

黄色い小水が  
キラキラしてる





こんないけないこと  
どこで覚えたのやら

病気になるっても  
知りませんよ



あああ

はあ

はあ

はあ

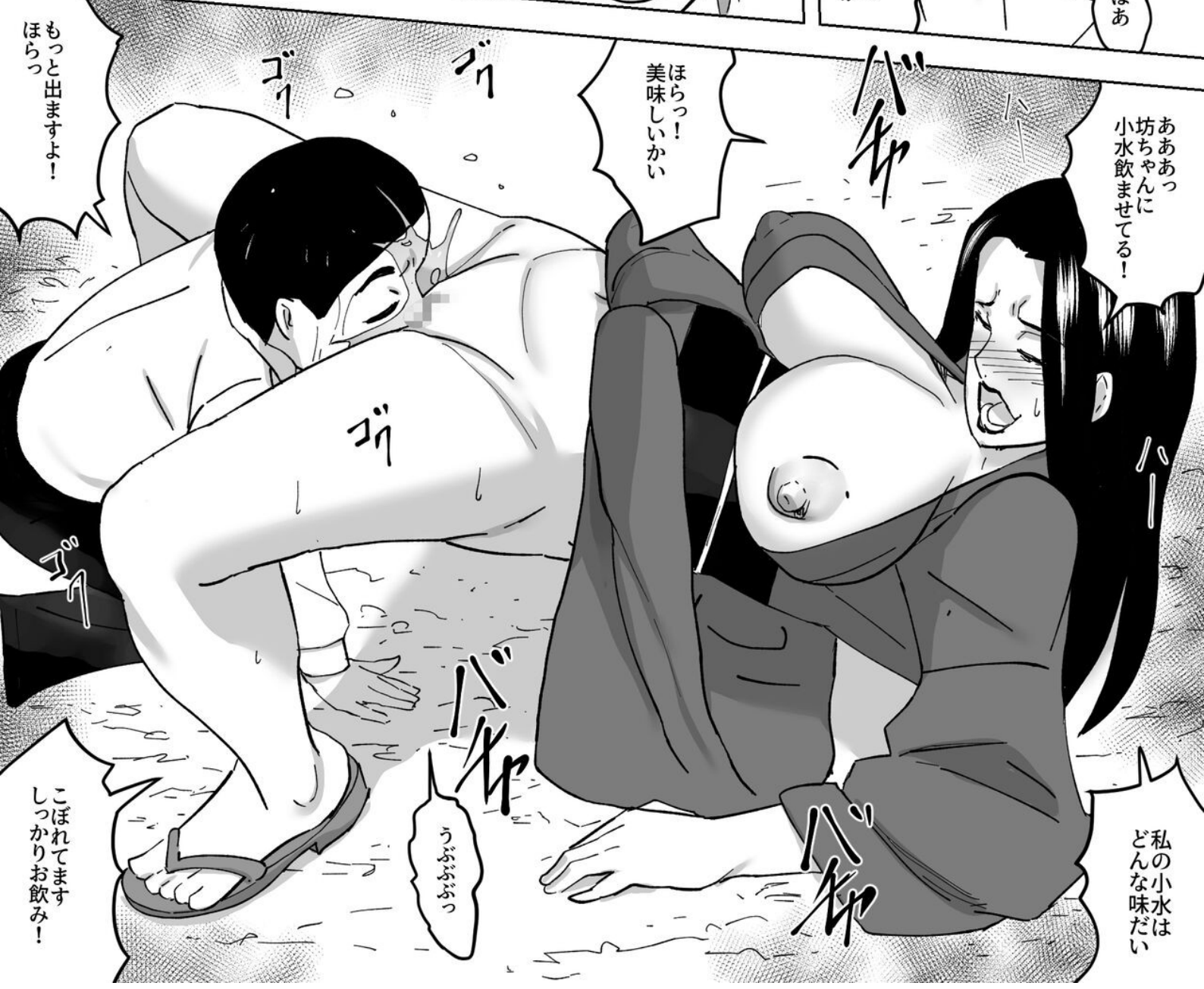


はっ? えええ!  
飲んでる?

ガ  
バ

ダメですよ  
小水なんか

はあ



もつと出ますよ!  
ほらっ

ほらっ!  
美味しいかい

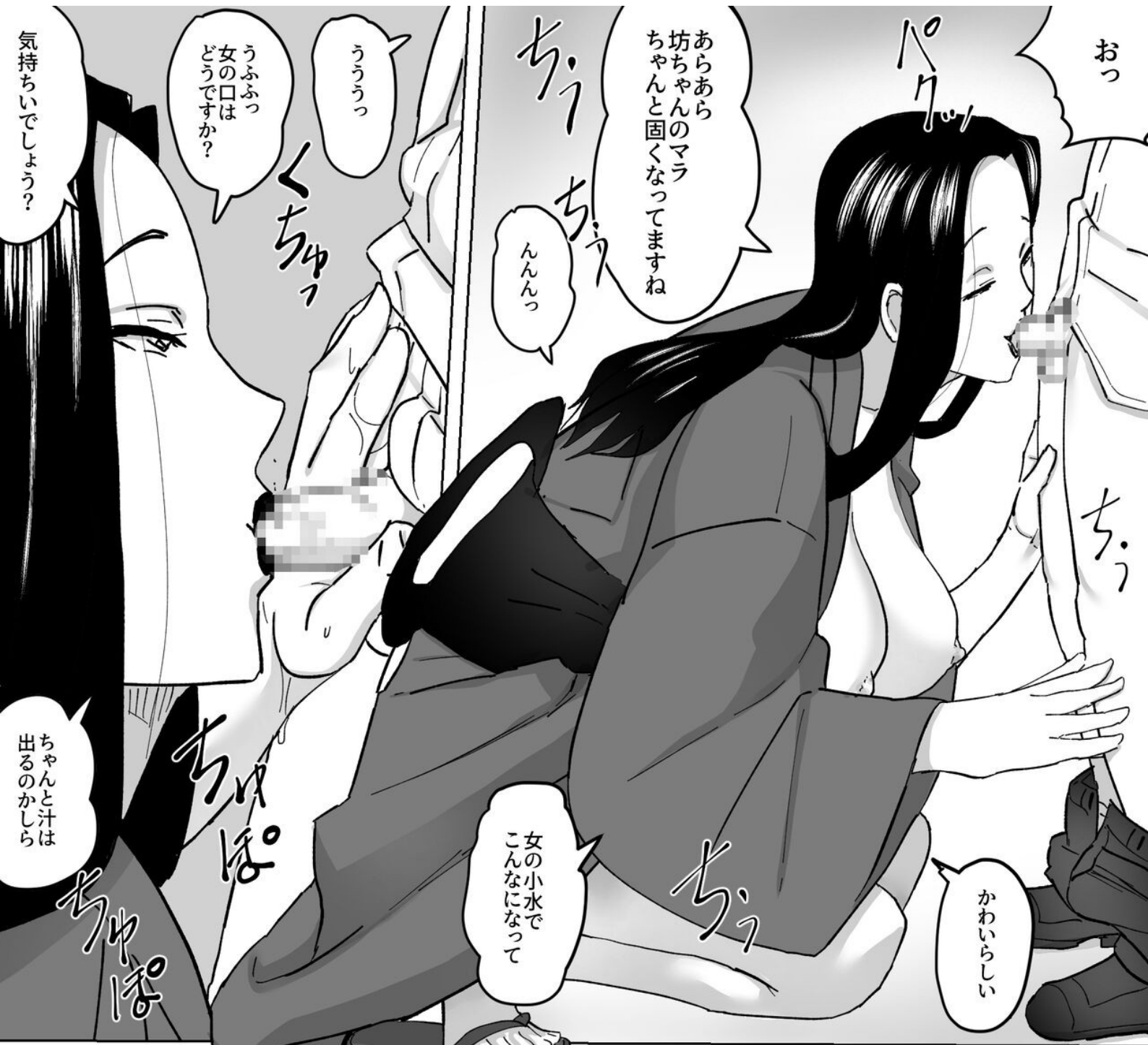
あああ  
坊ちゃんに  
小水飲ませてる!

私の小水は  
どんな味だい

こぼれます  
しっかりお飲み!

ゴ  
ゴ  
ゴ

ハ  
キ  
ハ  
キ



気持ちいでしょうっ?

うふふっ  
女の口は  
どうですか?

うううっ

くちゅっ

ちゅぽ  
ちゅぽ  
んんん

あらあら  
坊ちゃんのマラ  
ちゃんと固くなってますね

ハッ

おっ

ちゃんと汁は  
出るのかしら

ちゅぽ

女の小便で  
こんなになって

かわいらしい



え!

なあ、千代の  
糞が見たい

糞……ですか

ちゃんと出る  
もう男じゃ  
ありませんか

おおっ

おおっ  
気持ちいい!

……出るっ

ああん

びん

びん

びん

千代!  
あなたって人は  
なんてことをっ!

あっ

芳江!  
戻ってきたのか



ねだられたからで

あ、あたしから  
誘ったわけじゃ  
ないからね!

失礼しますよ

まあっ

そんなもの出して



だって芳江が  
見せてくれないから

嫌です!

じゃあまた  
千代に頼もうかな

いけません!

見せてくれよ



坊ちゃん!  
誰彼構わず手を出すのは  
おやめなさい!

